

# 京 都 新 聞

平成25年11月12日

## ダム内部見学 田園サイクリング 体験型の日吉観光PR

### 業者ら招きモデルツアー



日吉ダム周辺でサイクリングを楽しむモニターツアーの参加者たち  
(南丹市日吉町天若)

観光サイクリングを軸とした体験型ツアーで南丹市日吉町を売り出すと、コースを策定している「京都丹波・食と森の交流協議会」がこのほど、日吉ダム周辺で旅行者らを招いたモデルツアー

を開いた。設定したコースは、日帰り、往復約20キロの行程。午前10時に日吉ダムに集まり、まずダム内部を見学する。天若湖の周囲約10キロを自転車で走った後、日吉の食材を使った弁当で

昼食。午後は自転車で同町胡麻まで田園風景を楽しみながら移動し、日吉神社参拝や農園で壬生菜の収穫体験をする。日吉ダムまで戻り、夕食に自ら収穫した壬生菜などを使ってバーベキューを楽しむというもの。

モニターには旅行業者やホテル関係者、外国人ら16人が参加した。コース策定に協力している京都サイクリングツアープロジェクトの2人が案内役を務めた。

当日はあいにくの雨となったが、参加者は紅葉を控えたダム湖周辺の森などの自然を肌で感じてサイクリングを楽しんだ。午後はバスで移動し、行程をチャックした。

社員への報奨旅行や国際会議での外国人旅行を扱う「THE JTEAM」京都オフ

イスの営業担当ロイツク・メンションさん(27)は「ダムの内部に入れるのは海外の客には貴重な体験になるのでは」と話し、JT B西日本の山口浩史国際旅行営業部長(49)は「海外からの旅行者も、体験型にシフトしてきている。日吉でのツアーは日本の自然を凝縮した濃い内容だった。PR次第で十分商品になると思う」と期待を寄せた。

(細合周平)